

<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：富永剛志 住所：猪名川町白金 年齢：42歳 就農区分：Uターン (出身：猪名川町白金 非農家)</p>  <p>R3年度に県知事賞を受賞した自信作</p>	<p>農業経営の状況 (現在)</p> <p>主な栽培品目： 農地：180a (すべて借地) 施設：ビニールハウス660㎡ 経営内容： ・露地野菜 (なす8a、白ねぎ5a、 スイートコーン10a、黒大豆枝豆5a等) ・果樹 (ぶどう30本、柿15本) 労働力：本人 出荷先：道の駅猪名川、量販店 (JA経由)</p>  <p>なす等夏野菜の栽培ほ場</p>
<p>就農から現在まで</p> <p>平成27年 離職 JAでアルバイトをしながら人脈と農業の基礎知識を習得 平成28年 就農 令和2年 果樹を導入 令和3年 ナスが県知事賞を受賞 令和4年 現在に至る</p>	<p>就農して良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点、嬉しかったこと R3の品評会で、ナスが県知事賞を頂いたことで、名前を覚えてもらい、消費者に「おいしい」と喜んでもらえることは励みになります。農業は頑張った分の成果は出てくるものだと感じています。</p> <p>○苦労した点 気象災害や獣害等で収量が確保できないこと。</p>
<p>農業をめざした動機・きっかけ</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<p>実家はサラリーマンです。前の職場で、1人目の子供が生まれた頃、職種は決まっていま</p>	<p>非農家出身者が農地を確保するためには、地元農家とのつながりが大事です。知り合いの農家から、草刈り等の仕事の依頼があれば、とにかく行き、一緒に仕事をして信頼関係を築きましょう。農家仕事で築いたつながりは、就農後も生きてきます。</p>